



岐阜県鉱工業指数 (平成20年10月分)

生産指数 前月比0.2%の低下

1 概況

平成20年10月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数でみると、情報通信機械工業、その他工業等が上昇したものの、一般機械工業、輸送機械工業等が低下したため、前月に比べ生産指数は0.2%減と低下に転じた。また、出荷指数も1.9%減と低下に転じ、在庫指数も1.3%減と前月に引き続き低下した。

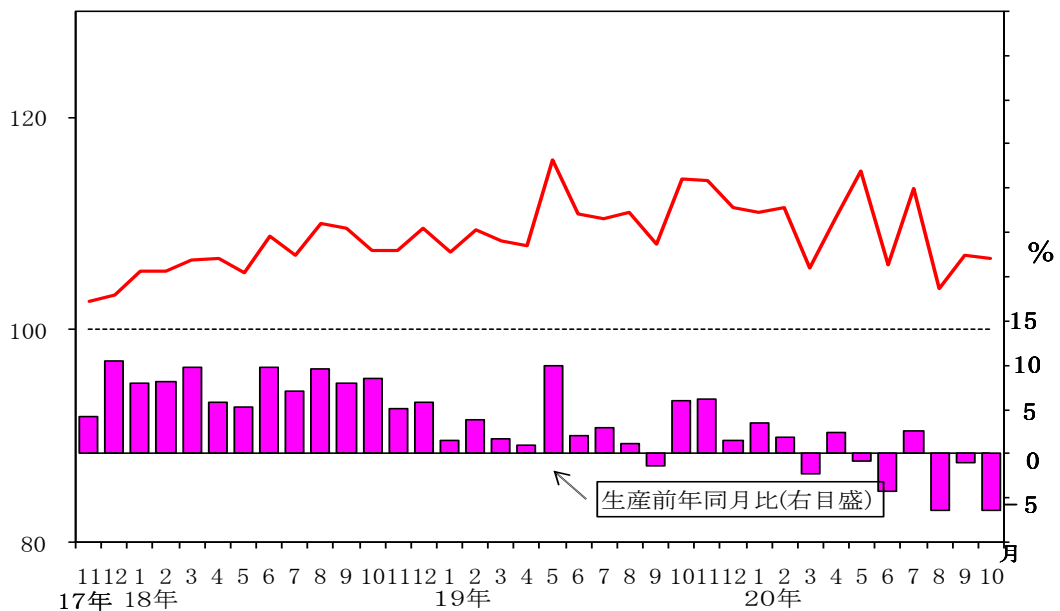
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は6.5%減となり、3カ月連続で前年を下回った。

(平成17年=100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	106.8	△ 0.2	110.1	△ 6.5
出荷	108.3	△ 1.9	111.6	△ 5.1
在庫	99.9	△ 1.3	103.0	△ 7.5

鉱工業指数(生産)推移

(平成17年=100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。

原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、ばね、超硬チップ等が増加したものの、軽金属板製品（産業用品）、橋りょう（陸橋・水路橋・海洋橋等）等が減少したため、4.1%減と低下に転じた。また、出荷も3.8%減と低下に転じ、在庫は12.2%減と前月に引き続き低下した。

機械工業の生産は、電子回路基板、油圧機器等が減少したものの、携帯電話、旋盤等が増加したため、2.4%増と前月に引き続き上昇した。また、出荷は1.5%減と低下に転じ、在庫は8.1%増と上昇に転じた。

窯業・土石製品工業の生産は、生コンクリート、気泡コンクリート製品等が増加したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、ガラス長繊維製品等が減少したため、1.5%減と低下に転じた。また、出荷は1.7%増と前月に引き続き上昇し、在庫は3.8%減と前月に引き続き減少した。

化学工業の生産は、無水酢酸が減少したものの、医薬品、自動車排気ガス用（触媒）等が増加したため、8.0%増と前月に引き続き上昇した。また、出荷も6.6%増と前月に引き続き上昇し、在庫は17.5%減と3カ月ぶりに低下した。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製継手等が増加したものの、プラスチック製容器、ホース（プラスチック製）等が減少したため、0.1%減と前月に引き続き減少した。また、出荷は0.6%増と3カ月ぶりに上昇し、在庫は1.0%増と増加に転じた。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	106.4	△ 4.1	△ 3.4	104.1	△ 3.8	△ 5.6	82.6	△ 12.2	△ 18.2
機械工業	121.9	2.4	△ 3.3	122.4	△ 1.5	△ 1.4	144.9	8.1	12.1
一般機械工業	103.7	△ 6.9	△ 14.2	115.4	△ 6.8	△ 12.3	-	-	-
情報通信工業	181.6	295.6	43.8	136.2	18.2	30.3	-	-	-
輸送機械工業	142.3	△ 3.3	17.4	132.1	△ 2.4	10.9	-	-	-
窯業・土石製品工業	81.4	△ 1.5	△ 18.4	84.3	1.7	△ 16.5	113.5	△ 3.8	5.1
化学工業	109.7	8.0	△ 5.0	110.7	6.6	△ 6.4	36.8	△ 17.5	△ 65.7
プラスチック製品工業	103.4	△ 0.1	△ 7.5	109.4	0.6	△ 4.6	97.0	1.0	△ 5.2

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

